

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2005-20808 (P2005-20808A)

【公開日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-003

【出願番号】特願 2003-178326 (P2003-178326)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 2 K 33/00

F 0 2 G 1/043

F 0 4 B 35/04

F 0 4 B 39/00

// H 0 2 K 15/02

【F I】

H 0 2 K 33/00 A

F 0 2 G 1/043 B

F 0 4 B 35/04

F 0 4 B 39/00 1 0 6 C

H 0 2 K 15/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インナーヨークと、

前記インナーヨークの外側に配置されるアウターヨークと、

前記インナーヨークと前記アウターヨークとの間に位置してマグネットが装着された部分を有する可動部材とを備え、

前記マグネットが装着された部分における前記可動部材の厚みが 0 . 2 m m 以上 1 . 0 m m 未満である、リニアモータ装置。

【請求項 2】

相対的に外径の大きい第 1 部分と、相対的に外径の小さい第 2 部分とを有するように樹脂製のスリーブを成形すると同時に前記第 1 部分の内周側にマグネットを装着する工程と、

前記第 1 部分の外周面側から前記第 1 部分の厚みを減じることにより可動部材を作製する工程と、

インナーヨークとアウターヨークとの間に前記マグネットが位置するように前記可動部材を配設する工程と、  
を備えた、リニアモータ装置の製造方法。

【請求項 3】

ケーシング内に設置されたシリンダと、

前記シリンダ内で往復動するピストンと、

前記シリンダの周囲に設置され、前記ピストンを往復動させる請求項 1 に記載のリニアモータ装置とを備えるリニア圧縮機。

## 【請求項 4】

ケーシング内に設置されたシリンダと、  
前記シリンダ内で往復動するピストンおよびディスプレイサと、  
前記シリンダの周囲に設置され、前記ピストンを前記シリンダ内で往復動させる請求項  
1 に記載のリニアモータ装置と、  
前記ディスプレイサを付勢するスプリングとを備えるスターリング機関。